

本日は、観光分野をテーマとしたシンポジウム、『『コロナ後』に挑む観光の変革～日タイ両国は質の高い観光に向けどのように取り組んでいくべきか～』を開催いたしましたところ、多くの皆様にご参加・ご視聴いただき、誠に有難うございました。

今日のシンポジウムは大変素晴らしいものになったのではないかと、本来やってはいけないのですが、自画自賛したいと思います。特に、登壇いただいた方々が大変素晴らしい皆様方で、モンコン次官補や水嶋国土交通審議官から今後の政策について大変貴重なお話を伺うことができ、またチュタマート代表の素晴らしい進行の下で、大変高い識見をお持ちの4人のパネリストの皆様方から「地方誘客」、「高付加価値化」といった点に着目して大変貴重なお話を伺うことができたと思います。コロナ後の観光を考えるに当たって、今日のシンポジウムは、きっと皆さまのお役に立つものになったのではないかと思います。

本日のシンポジウムは、ご紹介がありましたように一昨年4月に開設いたしました私どものアセアン・インド地域事務所の開設記念シンポジウムでございます。AIROは、ASEANインド地域における交通、運輸、観光の分野における様々な課題について、皆様のお役に立てますよう活動を行って参ります。

先程、チュタマート先生から、今日のような機会をまたJTTRIに設けてほしいという、大変ありがたくまた身に余るお話をいただきましたが、そうした声をかけていただけるよう、今後とも、皆さま方のご支援、ご指導をいただきながら頑張っていきたいと思っております。どうぞ今後ともよろしくお願い致します。

結びにあたりまして、本日ご参加頂きました皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、大変簡単ですが、私からのご挨拶と致します。本日は誠にありがとうございました。